

昭和二十五年新規発生災害の被害状況 (農林省農地局)

融雪水害、六月以前水害の被害状況

本年初頭より六月に至る期間において、全国七箇部的な不連続線による豪雨があり、加うるに北海道、東北、北陸地方の山間部には、暖冬異常のため、融雪水害を惹起し、河川の氾濫、堤防の決壊等により農地、林業用道路、林道、林業用施設に甚大なる被害を及ぼした。その被害額別紙の通りである。

二 六月水害の被害状況

六月上旬から中旬の梅雨期にかけて発生した特異の不連続線が東海、信越、関東の一帯に異常な豪雨をもたらし、その降雨量は東海道及びその北山岳地帯では三〇〇耗、関東北部及び奥羽南部では二五〇耗から三〇〇耗、その関東、甲信地方では三五〇耗をこえて、長野県外二十都道府県に甚大なる被害を與え、各處に堤防の決壊、道

路、橋梁の流失を生じ、林業用道路に甚大なる被害を與えた。各都道府県の判明せる被害額は別紙の通りである。

三 グレイス台風による被害状況

グレイス台風は七月十八日小笠原東方洋上を北々東に進み次第に勢を増して七月二十日には鹿児島の西方海上に達し五島列島の西を北々西に進み朝鮮南端に上陸して消滅した。この台風により七月二十日前後九州一帯に豪雨をもたらし峰羽量五五〇耗をこえ宮崎、鹿児島、熊本、長崎、大分等の各県に甚大なる被害を與えた。これがため各地に堤防の決壊、道路、橋梁の流失を來し床に浸水、農業用施設、林地、林業用施設、漁港施設、に甚多の被害を及ぼした。以下引き続き調査中であるが、現在迄に判明した被害額は別紙の通りである。

四 ヘリーン台風の被害状況

熱帶性低気圧ヘリーン台風は七月二十七日九州の西方海上にあつて停滯した為その前後に亘つて九州、近畿、関東地方一帯に稀有の甚

雨をもたらし降雨量の多いところは五〇〇耗をこえてゐる。これがため山地の崩壊、堤防の決壊を來し過疎、過剰用種設、林地、林業用道等に大なる被害を與えた目下調査中であるが、現在迄に判明した被害額は別紙の通りである。

なお北海道にも激甚な被害を及ぼした。

#### 五 八月上旬の水害

八丈島附近より北上した稍々急進した熱帯性低氣壓は八月四日沼津附近に上陸し衰弱しながら北上し新潟附近に達して消滅した、この豆台風の影響を受けて八月三日より五日に亘り関東・山岳部・東北地方に稀有の豪雨をもたらしその被害は甚大で相当多額に達するものと思われる。

被害額は目下調査中である。

貽和二十一年新規發生災害都道縣縣另設倅一覽表

新樂別被宣傳一貫被羣衆所支持。

レーニンの風(調査中) ヘリーネ・ヨハネス

十一

三